

ポジショニングシート 体位変換用シート取扱説明書



1. 本製品の特徴

「体位変換用シート(MC)」はベッド上での体位変換やポジショニング、または寝返りがし易くなるように設計されているシートです。通常のシートのようにマットレスの上に敷き使用します。サテン布地面が摩擦を軽減します。「体位変換用シート(MC)」と共にセカンドシートの「体位変換用シート(STS:2方向用)」を使用すると、看護師が使用者の横方向の体位変換やポジショニングを行うことができ、「体位変換用シート(FS:4方向用)」と共に使用すると、横および縦方向の体位変換やポジショニングを行うことができます。

約300Kgまでの使用者に用いることができます。

2. 注意事項



定期チェック

本製品の的外観や機能に問題がないか定期的に確認してください。傷や摩耗、劣化等を確認した場合は、本製品を使用せず廃棄してください。



取扱説明書の確認

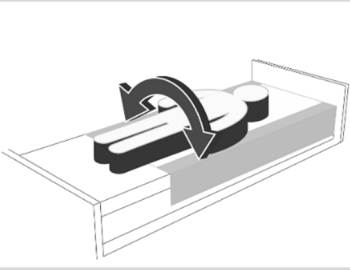
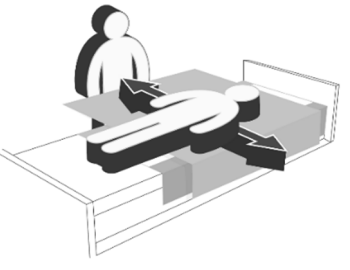
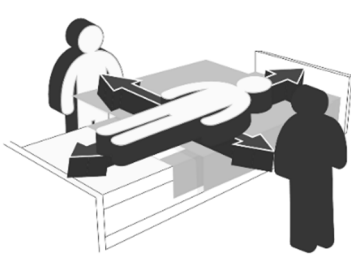
ご使用前に必ず本取扱説明書をお読みください。また本取扱説明書を保管してください。



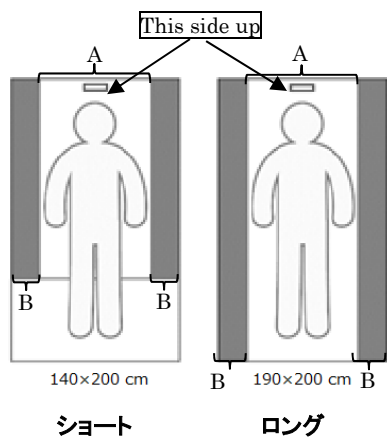
重要な注意

ポジショニング時や体位変換時には使用者から目を離さないでください。使用者がベッドから滑り落ちないようにご注意ください。看護師がベッド両脇にいない場合は、ベッドサイドレールを上げてください。

3. シーツ別使用方法

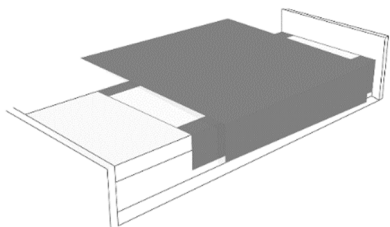
マットレスカバー	セカンドシート	
体位変換用シート(MC)	体位変換用シート(STS:2方向用)	体位変換用シート(FS:4方向用)
 <p>Positioningsheet Mattress Cover (MC)</p>	 <p>Secondsheet Side to Side (STS)</p>	 <p>Secondsheet Four side (FS)</p>
<p>マットレスに重ねるカバーシート。サテン布地面が、寝返りをし易くします。</p>	<p>「体位変換用シート(MC)」の上に重ねるセカンドシート。看護師が使用者の横方向の体位変換やポジショニングを行う際に使用します。シートの端をマットレスの下に挟み、固定することもできます。使用者の体重が重い場合はリフトを併用することもできます。(「8. リフトとの併用」参照)</p>	<p>「体位変換用シート(MC)」の上に重ねるセカンドシート。看護師が使用者の横および縦方向の体位変換やポジショニングを行う際に使用します。シートの端をマットレスの下に挟み、固定することもできます。使用者の体重が重い場合はリフトを併用することもできます。(「8. リフトとの併用」参照)</p>

4. マットレスカバー/ 体位変換用シート(MC)の配置



通常のシートのようにマットレスに敷きます。**This side up** (こちらが上)と書かれたラベルがベッド頭側中央になるよう配置してください。マットレスカバーの滑りの良いサテン布地面(左図 A)を中央に、滑りにくい布地面(左図 B)を左右に均等に配置してください。滑りにくい布地面により使用者がベッドから滑り落ちにくくなります。

5. セカンドシート/ 体位変換用シート(STS)および体位変換用シート(FS)の配置



看護者が使用者の体位変換を行う場合は、「体位変換用シート(MC)」の上にセカンドシートである「体位変換用シート(STS:2方向用)」または「体位変換用シート(FS:4方向用)」を重ねます。**This side up**(こちらが上)と書かれたラベルがベッド頭側中央になるよう配置してください。

6. セカンドシート/体位変換用シート(STS)および(FS)を使用した体位変換



①-1



①-2



③

- ① 肩と腰付近のセカンドシートを掴み体位変換を行います。セカンドシートのハンドルを掴む(左図①-1)またはセカンドシートの布地を多めに掴みます(左図①-2)。(人間工学的にはシートの布地を掴む方法がお勧めです。)
- ② 手首を伸ばしたまま体重を後ろにかけます。セカンドシートによる体位変換は看護者1人、2人で行うことができます。2人で行う場合は、1人がセカンドシートを引き、もう1人が反対側から使用者の肩と腰付近を押すことで体位変換します。
- ③ 体位変換後、セカンドシートのフラップ部分をマットレス下に挟み込むと、シートを固定することができます(左図③)。

7. セカンドシート/体位変換用シート(FS)使用時のずれ下がり防止



折り込み中



折り込み完了

「体位変換用シート(FS:4方向用)」を使用している場合、以下の固定方法で座位姿勢においても使用者のずれ下がりを防ぐことができます。

使用者の腰下のシートを内側に二重に折り込み、折り込んだ端をマットレス下に挟みます。ベッド頭側をギャッチアップする際も、この二重部分の表面摩擦により、ずれ下がりを防ぐことができます。

8. リフトとの併用



①-1



①-2



②

「6. セカンドシート/体位変換シート(STS)および(FS)を使用した体位変換」での方法が看護者の負担となる場合は、2点スリングバーのリフトを使用することもできます。いずれのセカンドシートでもリフトが使用できます。

- ① セカンドシート片側のハンドル2箇所をスリングバーに引っ掛け持ち上げます(左図①-1)。高さの調整が必要な場合は、リフトの高さに応じて「体位変換用シート用ループ」を追加し、持ち上げます(左図①-2)。
- ② 必要に応じてリフトの動作を止め、調整しながら体位変換を行います(例:ケアスペースを確保するためにベッド中央付近に使用者を移動させてからスリングバーを上げて看護者の方向に向けて側臥位にする等)。持ち上げたセカンドシートで使用者の背中が支えられているため、排泄ケアや清拭ケア等を衛生的にサポートできます(左図②)。

9. 使用後のケア

本製品は洗濯機で洗濯が可能です。柔軟剤は使用しないでください。製品を長くご使用いただくため、乾燥はつり干し、もしくは低温でのタンブル乾燥を行ってください。



10. 素材

体位変換用シート (MC)	<表裏>両サイド：緑色/ポリエステル、綿 <表裏>中央：白色/ポリエステル（サテン布地）
体位変換用シート (STS)	<表>全面：緑色/ポリエステル、綿 <裏>全面：緑色/ポリエステル、綿
体位変換用シート (FS)	<表>全面：緑色/ポリエステル、綿 <裏>全面：白色/ポリエステル（サテン布地） <裏>両サイド（一部）：緑色/ポリエステル、綿

11. その他注意

本製品を装具使用者の体位変換やポジショニングに使用する場合は、ショートサイズの体位変換用シートを使用する等、装具部分をシート外側に配置してください。体位変換用シートの上に装具を配置すると、シートが破損する恐れがあります。

ご使用に際し、ご不明な点などがありましたら、発売元までお問い合わせください。

発売元


 信頼をかたちに
シーマン株式会社[®]
 大阪市北区東天満 1 丁目 12 番 10 号 〒530-0044
<https://www.sheen-man.co.jp>
 TEL. (06) 6354-7702 FAX. (06) 6354-7114

輸入元

スーガン株式会社
 大阪市北区東天満1-12-10 〒530-0044

外国製造所: Hjälpia 社

本品は医療機器ではありません。